

ライティング評価基準 — タスク2

段階評価	課題への回答	一貫性とまとまり	語彙力	文法知識と正確さ
9	- 課題の全ての部分に完全に取り組んでいる - 回答に対し、関連性のある、詳細で十分な裏づけのある理由を提示し、確固とした見解を示すことができる	- 目立つことなく自然に接続詞を使用している - 段落分けをうまく行っている	幅広い語彙を単語の特徴を生かして自然かつ洗練された方法で使用でき、軽微な誤りがまれに「うっかり起こる」	様々な構文を非常に柔軟にかつ正確に使いこなすことができ、まれに軽微な誤りが「うっかり起こる」
8	- 課題の全ての部分に十分取り組んでいる - 回答に対し、関連性のある、詳細で十分な裏づけのある理由を提示し、熟考された回答ができている	- 情報や意見を論理的に配置している - 全ての観点から文章を上手にまとめている - 段落分けを十分かつ適切に行っている	- 正確な意味を伝達するために幅広い語彙を流暢かつ柔軟に使用できる - 一般的でない語句をうまく使用できるが、単語の選択や組み合わせに時おり不適切さがみられる・単語の選択や語形成(またはその両方)に間違いがほとんどない	- 様々な構文を使用できる - 総じて間違いのない文章を書くことができる - 間違いや不適切さがまれに見られる
7	- 課題の全ての部分に取り組んでいる - 回答全体を通じ終始明確な見解を示すことができている - 主旨を示し、詳細と理由を提示できるが、一般化しすぎたり理由の論旨が明快ではなかったりする(またはその両方である)	- 情報や意見を論理的に整理しており、全体を通じ明確な連続性がある - 様々な接続詞を適切に使用しているが、使用の仕方にも不足がみられる - 各段落には明確な中心主題が存在している	- 十分な幅の語彙を使用でき、柔軟性や正確さも認められる - 一般的でない語句を使用でき、表現方法や組み合わせにも配慮している - 単語の選択・スペルや語形成(またはその両方)に間違いが散見される	- 様々な複雑な構文を使用できる - 間違いの全くない文章を書けることが多い - 文法と句読点をうまく使いこなすが、エラーは依然として存在する
6	- 課題の全ての部分に取り組んでいるが、詳述されている部分とそうでない部分がある - 関連性のある見解を示すことができるが、結論が不明瞭もしくは重複していたりする - 関連性のある主旨を示すことができるが、詳細に欠けたり、不明瞭であったりする	- 情報や意見の配置に一貫性があり、概ね明確な連続性がある - 接続詞を効果的に使用しているが、文書中や文章間(またはその両方)の接続詞が機能してなかったり、機械的であったりする - 参照が明確でなかったり、適切でなかったりする - 段落分けがされているが、必ずしも論理的ではない	- 課題に対する十分な範囲の語彙を使用できる - 一般的でない語句の使用を試みるが、不正確さが見られる - スペルや語形成(またはその両方)に間違いが散見されるが、コミュニケーションを阻害するほどではない	- 簡単な構文と複雑な構文の両方を使用する - 文法と句読点に間違いもあるが、コミュニケーションに支障の出るようなことはめったにない
5	- 課題の一部にのみ取り組んでおり、所々の書式が不適切であったりする - 見解を表明しているが、展開が不明瞭であったり、結論が記述されていないこともある - 要旨が記述されているが、限定的であり、展開が不十分で、無関係な詳細が含まれていることもある	- 情報がある程度整理されているが、全般的な連続性を欠く - 接続詞の使用が不十分であったり、不適切であったり、多用しすぎであったりする - 参照や置換が果不十分のために重複が見られる - 段落形式で記述されていなかったり、されていても不十分であったりする	- 語彙の使用範囲は限定的であるが、課題に最低限必要なレベルである - スペルや語形成(またはその両方)にかなりの間違いが見られ、読み手の理解が困難な場合もある	- 複雑な構文の使用は限定的である - 複雑な構文の使用も試みるが、簡単な構文と比較して不正確になるきらいがある - 文法や句読点の間違いが多く、間違いが理由で読みづらいこともある
4	- 課題の要件には最低限しか取り組んでしておらず、回答が的外れで、形式も不適切であったりする - 見解を記述しているが不明瞭である - 要旨を記載しているが、特定することが困難であったり、重複、無関係、理由づけが不十分であったりする	- 情報や意見は記載されているが、一貫性を持って並べられておらず、回答に明確な連続性を欠く - 基本的な接続詞が使用されているが、不正確であったり、重複していたりする - 段落形式で記述されていなかったり、されていても混沌としている	- 基本的な語彙のみを重複して使用したりし、課題をこなすのには不十分である - スペルや語形成(またはその両方)の使用は限定的である - 間違いによって読み手が負担を感じる	- 極めて限定的な構文の使用で、複文構成はめったにない - 正確な構文もあるが、間違いが多見され、句読点にも間違いがある
3	- 課題のどの部分にも十分取り組んでいない - 明確な見解を示していない - ほとんど意見の記載がなく、多くが詳細と関連性を欠く	- 意見を論理的に整理できていない - 接続詞の使用は非常に限定的で、使用している場合でも、意見と意見の間に論理的な関連性を示すことができていない	- 使用語彙と表現が極めて限定的で、語形成やスペル(またはその両方)をうまく操作できない - 間違いによってメッセージが大きく歪曲される	文章の構成を試みるが、文法と句読点の間違いが多見され、意味が歪曲されてしまう
2	- 課題にほぼ回答していない - 見解を示していない - 意見をひとつずつ記載しようと試みているが、詳細が記載されていない	整理する能力がほとんどない	極端に限定的な語彙で、基本的に語形成やスペル(またはその両方)を操作できない	暗記しているフレーズ以外に文章構成ができない
1	回答は課題と全く関連性がない	メッセージのコミュニケーションができていない	片言の言葉しか使用できない	文章構成が全くできない
0	- 受験していない - 課題に取り組んでいない - 暗記した回答を記載している			

IELTSは、British Council、IDP：IELTS Australia、Cambridge English Language Assessmentの共同所有です。